

# 岐阜県関市における文化遺産フィールド実習について

陰地祐輝

## 1. 研修のねらいと経緯

京都府立大学文学部歴史学科では、学部2回生を対象とした課外プログラムである文化遺産フィールド研修を2009年度から実施してきた。実地で文化遺産の調査、保全、活用などについて学習することを目的としたプログラムであり、毎年夏季休業を利用して、2泊3日の日程でフィールドワークをおこなっている。2016年度からは、「文化遺産フィールド実習」として大学の正規科目に組み入れ、充実をはかっている。各自、対象地域において関心を持った内容を課題として設定したうえで、事前勉強会において報告し、3日間の実地調査をおこなう。調査終了後、調査内容をレポートにまとめて報告書としたのが本稿である。

今年度は岐阜県関市において実習を実施した。関市には、本学の卒業生である森島一貴氏が文化財専門職員として勤務しており、また上杉和央准教授が以前より関市小瀬地域の調査をおこなっていた縁があった。こうした背景を活かして、地域に学ぶプログラムを教育委員会の協力を得て実施することができた。

1日目は、最初に伊藤聡氏の説明を受けたのち、同氏の案内で大杉西遺跡及びその周辺を踏査した。次に田中氏による案内のもと弥勒寺官衙遺跡群を見学し、同氏への聞き取り調査もおこなった。その後円空館にて森島氏から円空仏をはじめとする展示資料についての説明を受け、並行して円空仏の3次元測量もおこなった。最後に足立太一氏から鶴飼いについての説明を受けたのち、実際に小瀬の鶴飼いを見学した。

2日目は、まず池尻大塚古墳及び白山神社の見学をおこなった。次に鶴匠である岩佐氏への聞き取り調査をおこなったのち、足立陽一郎家に場所を移し足立船頭である山田氏に聞き取り調査をおこなった。午後からは各グループに分かれ地理班は街道調査、文化情報班は花馬まつりについて恩田氏への聞き取り調査、建築班と考古班は武芸八幡宮を見学したのち文化財保護センターで大杉廃寺、坊地廃寺の遺物調査をそれぞれおこなった。

3日目は、春日神社で各グループに分かれ境内の石造物調査、建造物調査、高辻氏と後藤氏への聞き取り調査をそれぞれおこない、調査後関鍛冶伝承館を見学した。午後から岐阜県博物館を見学し、その中で池尻大塚古墳出土遺物の調査をおこなった。

調査後、各自が調査レポートを執筆し、PDFにまとめて関市に提出した。本書には、こうした調査成果のうち、地域の文化遺産の保存や活用に資するものを中心に抜粋して掲載することにした。

参加者 学生（2回生）：池田野々花・小林楓・佐藤颯人・佐野将大・篠原光・

鈴木更紗・竹河果穂・西村純輝・溝口泰久

大学院生：小川大地・陰地祐輝・竹内祥一郎・田口裕貴

教員：諫早直人・上杉和央・岸泰子・東昇・菱田哲郎

## 2. 主要な行程

8月6日(月)

12:30 大杉廃寺、大杉西遺跡及び周辺地域の踏査

14:00 弥勒寺官衙遺跡群見学

円空館見学(円空仏測量)

鶴匠家見学(足立太一家)

18:00 鶴飼見学

8月7日(火)

8:00 池尻大塚古墳見学

白山神社見学

9:00 鶴飼聞き取り 岩佐鶴匠(岩佐家)

10:30 船頭聞き取り 山田船頭(足立陽一郎家)

13:00 ①郡上街道調査

②武芸八幡宮見学・花馬まつり聞き取り 恩田氏

③大杉廃寺遺物調査

8月8日(水)

9:00 ①関市春日神社境内建造物・石造物調査

②浦嶋山車の聞き取り 高辻氏、後藤氏

関鍛冶伝承館見学

14:00 岐阜県博物館見学

池尻大塚古墳出土遺物調査

### 【謝辞】

実習の実施に際しては、多くの方々にお世話になった。鶴匠の足立陽一郎様、足立太一様、岩佐昌秋様、船頭の山田勤様、常磐町浦嶋山車保存会副会長高辻登様、関市協働推進部文化課長兼文化会館長後藤基次様、武芸八幡宮元氏子総代の恩田正明様、関市教育委員会の田中弘志様、伊藤聡様、森島一貴様をはじめ、お世話になったすべての方々に厚くお礼申し上げたい。